



アドビシステムズ社、 PC と各種機器における Web 開発を加速させる Adobe Flash Platform を発表

**普及するモバイル機器での快適な Web ブラウジングを実現し、
デザインと開発のワークフローを進化させる革新的な機能を提供**

【10月6日】

米国ロサンゼルス、ADOBE MAX 2009 発（2009 年 10 月 5 日） Adobe Systems Incorporated（Nasdaq：ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社）は本日、Adobe® MAX 2009 にて、Adobe® Flash® Platform のさらなる進化を発表しました。アドビシステムズ社の公開した Flash Player 10.1 は、表現力豊かな Web コンテンツ、動画、アプリケーションを実現し、これまでよりも幅広い機器と多くのユーザーを対象としています。さらに、Flash Platform 上で提供される動画向けに最新の HTTP ストリーミング技術の発表、Adobe AIR®（Adobe Integrated Runtime）2 ソフトウェアの新機能のデモ、Adobe Flash® Builder と Flash® Catalyst のセカンドベータ版の公開に加え、コラボレーションを実現する最新の Adobe Flash Platform Services の提供開始を発表しました。

アドビシステムズ社の最高技術責任者（CIO）であるケビンリンチ（Kevin Lynch）は、「Adobe MAX 2009 で、Flash Platform のこれまでにない進化を発表できることを非常に嬉しく思います。当社は、ツール、ランタイム、サービス、サーバーで急速な革新を実現することで、デザイナーと開発者による大規模で活気のあるエコシステムを実現し、表現力豊かなコンテンツとアプリケーションが生まれ、Web の進化がさらに加速しています」と述べています。

ブラウザの内外を問わず、様々な PC や機器で一貫性を実現するランタイム

アドビシステムズ社は本日、多様な PC やモバイル機器で一貫したランタイムを実現し、Open Screen Project の約 50 社の参加企業が支持する Flash Player 10.1 を発表しました。Flash Player 10.1 は、Google Android、Blackberry、Symbian、Palm webOS、Windows Mobile など、一連のモバイルプラットフォームに対応する予定です（別途リリース参照）。

Adobe AIR 1.0 は、Web アプリケーションをブラウザ外で提供するための Flash Platform のランタイムで、昨年公開以降のインストール数は 2 億以上に達し、普及が大幅に進んでいます。Adobe AIR 2 は、MAX 2009 でプレビューが行われ、年内にベータ版が公開される予定です。これによって、デスクトップ環境で全く新しいアプリケーションを駆動することが可能となり、開発者は、マストレージ機器のサポート強化、ピアツーピアネットワーク、UDP（ネットワークなどより多くの機能によって、デスクトップ OS を活用できます。

包括的なワークフローで、デザインと開発の生産性を高める各種ツール

Adobe Flash Builder と Flash Catalyst を使用することで、開発者やデザイナーは、より生産的な形で連携し、表現力豊かで魅力的な体験を創造できます。オープンソースの Flex® フレームワークを採用した Adobe Flash Builder は、Adobe Labs で本日、セカンドベータ版が公開されました。本製品には、新しく、強力な機能セットが加わり、リッチインターネットアプリケーション（RIA）の迅速な開発が可能となります。今回のセカンドベータ版では、Flash Builder の新たなコード編集 / テスト機能の多くに改良がされています。たとえば、

Java サービスへの接続の簡素化、Flex フレームワークの最新コンポーネントである“ Spark”との連携機能の向上により、デザイナーと開発者とのワークフローの生産性向上と、RIA の完全なカスタム化が実現します。さらに、Flash Builder は、米国で本日、発表された新製品の LiveCycle® Enterprise Suite 2 とも連携するため、エンタープライズ RIA の開発が簡単になり、エンタープライズシステムとの接続も容易になります。Adobe Flash Builder についての詳細と、セカンドベータ版のダウンロード方法については、<http://labs.adobe.com/technologies/flashbuilder4/> に掲載されています。

アドビ システムズ社は、本日、Adobe Flash Catalyst のセカンドベータ版を公開しました。Adobe Flash Catalyst は、最新のプロフェッショナル向けインタラクションデザインツールで、開発ワークフローと容易に連携しているので、デザイナーはコードを書くことなく、表現力豊かなインタフェースと双方向コンテンツを作成できます。カスタム再生コントロールによってビデオをプロジェクトに容易に追加し、サウンドエフェクトを追加してユーザーのフィードバックを高められるほか、イー징コントロールを導入してスムーズなモーションを実現し、SWF 出力だけでなく Adobe AIR を使用してブラウザ外で動作するプロジェクトをエクスポートするなど、新機能も多く搭載されています。Adobe Flash Catalyst についての詳細と、ベータ版 2 製品のダウンロード方法については、<http://labs.adobe.com/technologies/flashcatalyst/> に掲載されています。

Adobe Flash Platform は、業界をリードするデザイン / 開発ソフトウェアとして、事実上すべてのクリエイティブワークフローに対応する Adobe Creative Suite® 4 製品ファミリーと緊密に連携しています。

オンラインの動画コンテンツのシームレスなストリーミングを実現する Flash Media Server

アドビ システムズ社は、Flash Access 2.0 ソフトウェアによるコンテンツ保護機能の搭載など、新たなプロトコルのサポートを追加することで、Flash Platform 上で HTTP ストリーミングによるメディア配信を実現する計画も発表しました。コードネーム Zeri と呼ばれるこの HTTP 技術は、業界標準に基づくオープンなフォーマットであるとともに、コンテンツパブリッシャー、ディストリビューター、パートナーにとっては、HTTP インフラストラクチャを活用し、PC と機器の両方で Flash Player 10.1 と AIR 2 による高品質のメディア配信を実現するために必要なツールとなります。顧客は、Flash Media Server 3.5 ソフトウェアを使用することで、インタラクティブなメディア体験、高効率ネットワーク、高度なキャッシング技術、リアルタイムなコミュニケーションを実現していますが、今後は、HTTP ストリーミングを柔軟に使用することもできるようになります。Zeri は、現在公開されているすべてのメディアコーデックをサポートし、アダプティブビットレートと、ネットワーク DVR の Flash プレイヤーへの対応により、今後も高品質のライブ / 録画メディアもサポートします。Project Zeri と Flash Media Server 3.5 により、Flash Platform は、次世代の高品質メディア体験を大規模に実現します。

リアルタイムのコラボレーションを実現する Adobe Flash Platform Services

最近発表したオンラインのホスト型サービスである Adobe Flash Platform Services によって、開発者は、予測可能でコスト効率に優れた導入モデルを使用し、Web アプリケーションに画期的な機能を追加できます。開発者、広告主、出版社は、Adobe Flash Platform Services を導入することで、共有ができ、ソーシャルでコラボレーションが可能な Web アプリケーションを実現できるようになります。

アドビ システムズ社は本日、Flash Platform Services に最新のコラボレーションサービスを追加しました。Adobe LiveCycle Collaboration Service (旧 Adobe Flash Collaboration Service) は、新旧リッチインターネットアプリケーション向けに、複数ユーザーによるリアルタイムのコラボレーション機能を容易に組み込み、増収と顧客の獲得と維持をするために開発者や企業が求めているソリューションとなります。Flash Platform と LiveCycle Enterprise Suite 2 の一部を使用したこのホスト型サービスにより、グローバルな導入、保守、拡張性に対応した、インコンテキストコラボレーションに基づく体験を提供できます。

Adobe Max 2009 で初の日本人講師を招聘

Adobe Max2009 では、初めて日本人講師によるセッションが開催されます。株式会社カタマリ 小山智彦氏は「Introduction to the Spark Project and FLARToolKit」と題した、AR (拡張現実感) 技術を Flash の世界に持ち込んだ FLARToolKit の紹介に関する講演を、beinteractive! の新藤愛大氏は、日本最大の ActionScript 3.0 コミュニティである Spark project の紹介を行います。

日本での Flash Platform テクノロジーのプレビューについて

なお、11月28日に開催の FITC TOKYO 2009 にて、アドビ システムズ本社のエバンジェリストが、MAX 2009 で発表される Flash Platform テクノロジーのプレビューを行う予定です。チケットならびにスケジュールは、FITC Tokyo 2009 <http://fitctokyo.com/> をご覧ください。10月16日(金)まで同イベントのチケット早割り(一般7,000円、学生6,000円)の購入が可能です。

Adobe Flash Platform について

Adobe Flash Platform は、Web のデザインと開発で業界をリードするプラットフォームであり、さまざまな OS や機器で同じように動作する表現力豊かなアプリケーション、コンテンツ、動画を開発することができ、これらは、インターネットに接続された98%以上のPCで再生することができます。最新バージョンである Flash Player 10 は、初期リリースからわずか10カ月で全世界のPCの93%以上にインストールされました。comStore Media Metrix によれば、全世界で視聴されているオンラインビデオの約75%がFlash技術を使って配信されており、Adobe Flash 技術は Web 上で最も普及している動画フォーマットとなっています。Disney.com、MLB.com、DIRECTV などの主要放送局やメディア企業は、Web上の動画配信に Adobe Flash Platform を使用しており、YouTube や MySpace など、ソーシャルネットワークサイトにも採用されています。Adobe Flash Platform についての詳細は、www.adobe.com/jp/flashplatform に掲載されています。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーの、アイデアや情報との関わり方に革新をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。